

福祉学習を開催しました

令和5年7月7日

仙台市若林障害者福祉センター

去る令和5年6月22日（木）、仙台市立蒲町小学校体育館にて福祉学習を開催しました。今回は蒲町小学校4年生 153名の児童の皆様、車いす体験をしていただきました。

体験後、児童からは「車いすに乗ると、目線が低くなって、少しの段差でもガタっとなると怖かった」「車いすを押すときに上手く段差を乗り越えられず、押す側の人も大変だと思った。」「今はまだちょっと緊張するけど、困っている人を見かけたら声をかけられるようになりたい」などの感想が聞かれました。

また、質問コーナーでは「車いすはどうやって作られているの?」「車いすはいつから使われているの?」「車いすは何kgあるの?」など、児童の視点から様々な質問がありました。

児童たちは車いすをご利用されている方や障害がある方の生活についてとても興味をもっており、自分の生活の中で置き換えて考えたりと真剣に話を聞いていました。

当センターでは、今年度若林区内4校の福祉学習を担当する予定となっています。当センターで企画する福祉学習が、児童たちにとって障害理解促進の機会となるよう、今後も努めて参ります。

